

2017年9月4日

## 幅広い加工ニーズに対応する複合加工機 “INTEGREX i-500”

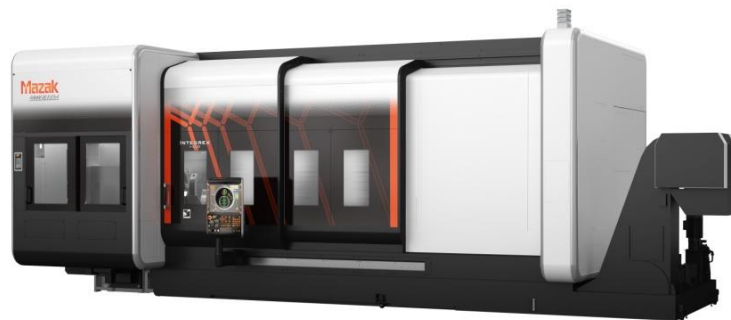
ヤマザキマザック株式会社(社長:山崎智久、愛知県大口町、TEL:0587-95-1131)は、複合加工機 INTEGREX iシリーズの最上位機種“INTEGREX i-500”を発表します。

複合加工機の代名詞ともいわれる「INTEGREX(インテグレックス)」の中でも「i」シリーズは最も販売台数の多いベストセラーモデルです。

今回発表するINTEGREX i-500は、「INTEGREX i」シリーズにおいて最大の加工能力を持つ最上位機種に位置付けられます。シリーズ中最大となるφ700mmまでの加工ワークに対応、高出力・高トルクのビルトインモータを搭載しながらも、全長をこれまでより短縮した新開発のコンパクトミル主軸を採用し、生産性の向上と加工領域の拡大を同時に実現しています。また機械構造の改良・高剛性化や高精度スケールの標準採用などにより、さらなる高精度化を実現しました。人間工学に基づく機能的デザインもさらに進化させ、機械前面に配置されたツールマガジンには、より使いやすいスライドドアを採用するなど作業性・保守性を向上させています。

今回、INTEGREX i-500ではモジュラー・コンセプトを新たに採用、旋削主軸やミル主軸など各部仕様の選択の幅を広げ、多様な仕様展開を行っています。ギア加工や高精度5軸加工など、自動車や航空機などの各業種で求められる専門的で付加価値の高い加工を含め、さまざまな加工ニーズに最適な仕様の一台を選択することが可能です。昨今高まる自動化ニーズに対しても、多関節ロボットや左右どちらにでも配置可能な高速ガントリロボットなど、さまざまなオプションを用意しています。

マザックは、9月18日から23日までドイツ・ハノーバーで開催される欧州国際工作機械見本市(EMO Hannover 2017)に当機を出展し、全世界での販売を開始します。



### INTEGREX i-500

お問合せ先 : ヤマザキマザック株式会社 経営企画室 広報  
TEL:0587-95-6849 [www.mazak.jp](http://www.mazak.jp)

掲載されているプレスリリース内容は、報道関係者へ発表した情報の要約です。  
ご覧の時点で予告無く情報変更が行われている場合がありますので、あらかじめご了承ください